

1. 日時：令和5年10月13日（金）5校時

2. 学年・組：海田町立海田西中学校 2年1組（男子20名，女子12名）

3. 単元名：「生き方，働き方」

4. 単元（題材）について

- (1) 単元観：本単元では，職場体験の事前と事後から自らの適性や課題を見つけ，よりよく問題を解決する資質・能力を育むことが求められる。この学習を通して，「働くために大切なこと」「将来に向けて身につけたい力」という課題を，探究的に調べ，生徒が主体的に活動する単元であると考えている。3日間の職場体験学習を通して，実際に働くことを体験し，働く人たちと接することで，勤労の意義や目的を理解し，進んで働こうとする意欲や態度等を育んでいきたい。また，地域の職場で働く人の思いや願いに触れながら，社会人としての基本的なマナーや言葉遣いを含めたコミュニケーション能力を養う体験活動にしていく。さらに，社会における自らの役割や将来の生き方，働き方について考える過程で，新たな自己の課題に気づき，その解決に向けて，よりよい生活や生き方を目指すことにつなげていきたい。こうしたことを通して，これからの生活においても目的意識をもちながら，主体的に進路を選択決定する態度や意志，意欲を育むことができる単元であると考えている。
- (2) 生徒観：本学年の生徒は，学校において係や委員会などクラスの役割を果たしている生徒は多い。4月に行った調査の結果では，「将来，あんな人になりたい，こんなことがしたい，こんな仕事につきたいという，夢や目標がありますか。」という質問項目に対して，肯定的な回答をした生徒が79.7%だった。その一方で「学校の授業やクラスの役割などで，自分は先生から期待されているんだな，友だちからたよりにされているんだなと感じることがありますか。」という質問項目に対して，肯定的な回答をした生徒が49.2%だった。このことから，現在自分が果たしている役割の意義や必要性を実感している生徒が少ないことがわかる。日々の生活の中の自分の役割に対する見方・考え方を広げ，学校での活動がどのように「自分のため」，「人のため」につながっているかを考えさせたい。
- (3) 指導観：生徒が働くことについて考えを持ち，探究していくことによって，働く人の考えや思い働くことの意義を理解することをねらいとする。また，働くことに対する自分なりの価値を見いだしながら，今やるべき自分の役割を考えていくことをねらいとする。そのために生徒に働くということに対する自分の考えを持たせ，体験を通して働いている人の考えと比較しながら，自分の考えを再構築していく。その考えを，学級での交流活動を通して，比較したり，分類したり，関連付けたりしながら，働くということに対する考えを「自分のため」と「人のため」という視点から捉えさせ，それらのつながりに気付かせる。広げる段階では，働く場面を学校や家庭に広げ，学校や家庭で自分の役割を実践することと職場体験で学んだ働くということを比較しながら共通点を見いだす。このように，体験活動後に友だちとの交流活動をしたりしながら多様な他者と振り返る活動を行うことで，働くということを多面的に捉えることができるようになり，その価値を今後の生活の中に生かしていこうとする生徒が育つと考える。

## 5. 単元（題材）の目標

企業調査や職場体験学習をしたり、自身の適性について考えたりすることを通して、働くことの意味を考える学習が自分自身の生き方に深く関わっていることを理解し、生き方を決める理由や根拠についての考えを深めるとともに、自己の生き方を考え、夢や希望などをもつことができるようにする。

## 6. 単元を通して育成したい資質・能力

知識 及び 技能	<p><b>【知識】</b> 自分自身やさまざまな人にとっての働くことの意味や意義を理解する。</p> <p><b>【技能】</b> 収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表す。</p> <p><b>【探究的な学習のよさの理解】</b> 働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることが理解する。</p>
思考力・ 判断力・ 表現力等	<p><b>【課題の設定】</b> 多くの人が仕事をしていることや働くうえで大切なことを考える中で、課題を発見し設定できる。</p> <p><b>【情報の収集】</b> 仕事の意義や自分自身の生き方について考えるための情報をインターネットや職場体験学習を通したりして収集できる。</p> <p><b>【整理・分析】</b> 調べたことや自分自身の体験から分かったことを比較したり関連付けたりするなかで、自分自身の生き方を決める理由や根拠とできる。</p> <p><b>【まとめ・表現】</b> 学習を振り返り、自己の生き方について考えを深めることができる。</p>
学びに向 かう力、 人間性等	<p><b>【自己理解・他者理解】</b> 自分の特徴や良さを理解したり、他者の考えを尊重したりしようとする。</p> <p><b>【主体性・協働性】</b> 人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重しながら課題に向き合おうとする。</p> <p><b>【将来展望・社会参画】</b> 自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとする。</p>

7. 単元（題材）の評価規準

ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
<p>①自分自身やさまざまな人にとっての働くことの意義や意味を理解している。</p> <p>②収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。</p> <p>③働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深く関わっていることが理解している。</p>	<p>①多くの人が仕事をしていることや働くうえで大切なことを考える中で、課題を発見し設定している。</p> <p>②仕事の意義や自分自身の生き方について考えるための情報をインターネットや職場体験学習を通したりして収集している。</p> <p>③調べたことや自分自身の体験から分かったことを比較したり関連付けたりするなかで、自分自身の生き方を決める理由や根拠としている。</p> <p>④学習を振り返り、自己の生き方について考えを深めている。</p>	<p>①自分の特徴や良さを理解したり、他者の考えを尊重したりしようとしている。</p> <p>②人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重しながら課題に向き合おうとしている。</p> <p>③自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとしている。</p>

8. 探究のサイクル2における評価ルーブリック

	B（目標を概ね達成した状態）	A（目標を大きく達成した状態）
<p>ア. 知識・技能</p> <p>【メタ認知】</p>	<p>働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択に深く関わっていることを理解している。</p>	<p>働くことの意味を考える学習が、将来の職業選択に深く関わっていることを理解するとともに、新たな課題を見出している。</p>
<p>イ. 思考・判断・表現</p> <p>【コミュニケーション能力】</p>	<p>調べたことや自分自身の体験から、自分自身の生き方を決める理由や根拠とすることができる。</p>	<p>調べたことや自分自身の体験から分かったことを比較したり関連付けたりするなかで、自分自身の生き方を決める理由や根拠とすることができる。</p>
<p>ウ. 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【主体性】</p>	<p>人とふれあい、自己を見つめながら課題に向き合おうとしている。</p>	<p>人とふれあい、自己を見つめ、他者を尊重しながら課題に向き合おうとしている。</p>

9. 本時 (第39時/60時)

(1) 本時の目標

よりよい職場体験新聞を作るための必要なことを、友だちの新聞から見つけ出そう。

(2) 本時の評価規準

【アー②】収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。(ワークシート)

(3) 準備物：ワークシート、職場体験新聞の下書き、付箋(ピンク)、付箋(青)

(4) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項 (◇) 「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て (◆)	評価規準 評価方法
0	1 学習内容の確認	◇中国新聞の講義を振り返り、よりよい新聞づくりをするためのポイントをおさらいする。	
3	2 本時のめあての確認		
(本時の目標) よりよい職場体験新聞を作るためのヒントを友だちの新聞から見つけ出そう			
5	3 班(6人)の新聞を見て、良いところ、もっとよくなる場所を見つけ、付箋を貼る。(5作品×5分)	◆付箋の内容に悩んでいる生徒には、新聞を見る視点を絞りながら、考えを引き出していく。	【アー②】収集した情報を手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。(ワークシート)
30	4 班でよりよい新聞を作るために必要なことをホワイトボードにまとめる。	◇貼った付箋をもとに、必要事項を班で出し合っていく。	
40	5 グループの意見を発表する。	◇自分たちのグループになかった項目をワークシートに記入させる。	
45	6 本時の学習の振り返りを記入する。		

(5) 板書計画

本時の目標：よりよい職場体験新聞を作るためのヒントを友だちの新聞から見つけ

よりよい新聞にするためには？ ・中国新聞の講義で学んだこと ・ ・ ・	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード
	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード

(別紙1) 単元構想図 第2学年 単元名「生き方、働き方」(全60時間)

《本質的な問い》

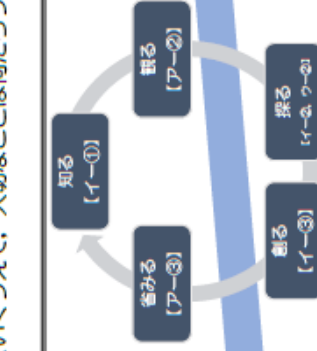
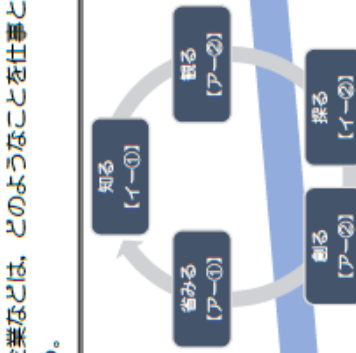
自己実現を図るために大切なこととは

問題

自分や必要が果たしている実感の薄い役割の意識  
 海田町の企業などは、どのようなことを仕事としてしているのだろう。

仕事をしていくうえで、大切なことは何だろう。

夢や希望を実現させたり、見つけたりするには何をしておく必要があるだろう。



新たな問いへ

	探究のサイクル1 (6時間)	探究のサイクル2 (4.5時間)	探究のサイクル3 (9時間)
<b>知る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの多くの人が仕事をして働いていることを伝える。</li> <li>海田町にも多くの企業などがあり、色々な仕事をしていることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の振り返りや先生の話を聞いて、仕事をしようえ大切だと考えられることについて知る。</li> <li>職場体験に行くことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生の現在までのキャリアについて話をしたり、夢や希望を表現させた有名人の話を聞いたりする。</li> </ul>
<b>観る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田町にどのような企業などがあるのか、インターネットを使って調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マナー講座を受講し、仕事をしていくうえでのマナーについて学習する。</li> <li>中国新聞社の方から、新聞社の仕事や新聞の効果的なづくり方についての話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の強みや弱み(適性)を、自己を振り返ったり、仲間と交流したりする中で気づく。</li> </ul>
<b>探る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田町の企業などがどのようなことを仕事としているのかや、SDGsに関しての取り組みなどについて、インターネットを使って調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アポイントメントの取り方や職場体験の打ち合わせに向けて準備し、職場体験先へ事前訪問する。</li> <li>職場体験に行き、仕事を体験したり、職場の方の話を聞いたりする。</li> <li>職場体験先にお礼状を書き、届ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適性や価値観を基に具体的な目標を考え、目指す将来に向けて将来設計を行う。</li> </ul>
<b>創る</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海田町の企業などの取り組みについて、レポートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験で学んだことを新聞にまとめる。</li> <li>よりよい職場体験新聞を作るために必要なことを、みんなの新聞から見つけ出す。</li> <li>完成した職場体験新聞を読み合い、交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアプラン(将来設計)について交流し、新たな価値観に触れ、個人の世界観を広げる。</li> </ul>
<b>省みる</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世の中にある仕事はどのようなものかという視点で学習を振り返り、仕事をしていくうえで大切なことについて新たな課題に気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事をしていくうえで大切なことという視点で学習を振り返り、自分の適性について目を向ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の生き方ともつながりながら、単元を通じた学びを振り返る。</li> </ul>